

学園テーマ「東海医療学園のブランド力を高める！」

重点目標

- I. 魅力ある学校づくりの推進
- II. 地域に貢献し、愛される学園を目指す
- III. 学園の運営基盤を強化する

評価 3: 優れている 2: 適切 1: 改善が必要 として委員による評価の平均値を記載

| 評価項目 | 成果と課題 | 学校関係者評価および次年度の取り組み | |
|----------------------|--|--------------------|---|
| 1. 教育理念・目的 ・人材育成像 | 学校案内、ホームページ及び学生便覧等において、教育理念・人材育成像、ならびにアドミッション、カリキュラム、ディプロマの各ポリシーを学校の内外に向けて明示し、理解に努めた。 | 2.8 | 高大接続が議論される中、高専接続においても教育理念に基づき、3ポリシーをさらに明確に発信することが求められる。学生募集や教育成果につなげて欲しい。 |
| 2. 学校運営 | 学園テーマ、重点目標達成に向けて基本方針を定めるとともに学校経営計画を立案。全体会議等を通じて教職員の共通理解に努めた。PDCA サイクルに基づき概ね計画どおり業務執行がなされ、学校運営会議により適宜評価を行った。政府の働き方改革に伴い就業規則等の見直しを行い、業務の効率化や残業時間の縮減に努めた。また、教育活動に関する情報公開も適切に実施した。 | 3 | 学園テーマ、重点目標を明確にし、PDCA サイクルに基づき評価が行われている。就業規則も見直し、残業時間の縮減に努めるなど努力している。 |
| 3. 教育活動 | 1) カリキュラム 年2回の教育課程編成委員会の意見を踏まえ、カリキュラムの検討および「プロフェッショナルリズムとリスク管理」をテーマとした教材作成に取り組んだ。 2) 分かりやすい授業への取り組み 教員による自己点検評価、学生による授業評価、校長等による授業参観及びフィードバックにより授業の改善向上に努めた。 3) 適切な成績評価 単位認定、進級・卒業認定等の基準を定め、これに基づく適正評価に努めた。試験においては必要度・難易度から十分吟味した問題の作成に努めた。 4) 教職員の資質向上 東洋療法学校協会第43回教員研修会の企画運営を本校が担当し沼津市にて開催した。その他、関連学会および各種セミナー等に参加し、資 | 3 | 職業教育に相応しい新たな教材の作製に取り組み、また授業評価にも積極的に取り組んでいる。 学生による授業評価を踏まえ、各教員が改善向上に努めている。 東洋療法学校協会第43回教員研修会の主管校を務め、教職員間の連帯が強化された。会員校のアンケートでは高く評価され、肯定的な意見が多かった。 |

| | | | |
|----------------|---|------------|---|
| <p>3. 教育活動</p> | <p>質向上に努めた。 5) 臨床実習 地域住民を対象とした臨床実習ならびに地域の介護保険施設の見学を実施、施術者としての態度・技能の向上に努めた。 6) その他の教育活動 日本鍼灸師会全国大会（浜松）における学生研究発表の指導に努めた。球技大会、ゼミ等の実施により、学生間や学生・教員間のコミュニケーションが図られた。また、学園祭では学生によるボランティア施術が行われ、日頃の練習成果を発揮する機会となり、奉仕の精神の発揚、市民との交流を図ることができた。</p> | | <p>「地域住民の協力を得て学生を育てる」理念は素晴らしい取り組みである。 富士宮における統合医療セミナーのフィールドワークは新しい試みとして評価できる。 さらに教育の質向上に取り組むよう期待する。</p> |
| <p>4. 学修成果</p> | <p>進級率・卒業率の維持向上のため、面談による問題発見・助言に努めた結果、退学者1名（家庭の事情）であった。また、放課後や夏休み期間等における補習授業に努めた結果として、留年者は1名であった。 年間を通じて国家試験対策授業を実施、合格率向上に努めた。あん摩マッサージ指圧師 91.3 %、はり師 87.0%、きゅう師 82.6%であった。 （公社）東洋療法学校協会による実技評価を受け、受験者全員が合格した。 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー平成 30 年度実技試験に 1 名が合格、令和元年度理論試験に 4 名が合格した。（実技試験は延期）</p> | <p>2.5</p> | <p>新入生プレスクールの回数を増やすなど、入学への準備状態を整え、学生同士・教職員とのコミュニケーションに努めた結果として、中途退学者が前年度より大きく減少したことは高く評価できる。 国家試験合格率については、一定の成果は出ているものの次回国家試験は新カリキュラムでの最初の試験となるので、十分な対策の下 100%合格を達成するよう更なる努力を期待する。</p> |
| <p>5. 学生支援</p> | <p>1) 進路相談 ①外部企業から講師を招聘し、3年生対象の就職セミナー（マナー、履歴書の書き方、職場訪問の仕方など）を実施した。 ②今年度で 13 年目となる就職ガイダンスを開催した。全国各地から 41 事業所の参加があった。（静岡 12、東京 10、神奈川 8、愛知 3、滋賀 2、 埼玉、千葉、三重、大阪、兵庫、福岡が各 1）</p> | | <p>求人件数・求人数が多いのが学園の強みの一つである。 求人先企業との良好な関係を継続して、職業教育機関としての使命を果たすことを期待する。</p> |

| | | | |
|----------------|---|------------|--|
| <p>5. 学生支援</p> | <p>③担当者による個別相談を行った。</p> <p>2) 健康管理 学校保健安全法に基づき、学生および教職員の健康診断を実施した。インフルエンザ等感染症予防の衛生教育、カウンセリング等に努めた。B型肝炎予防接種を実施、実習および将来の業務による感染防止に努めた。トレーニングルームを学生に開放し、健康づくりの推進に努めた。</p> <p>3) 生活相談 ①日本学生支援機構奨学金関する相談、貸与申請手続きなどの支援に努めた。また、期限までに納付困難な学生に対し、分割納付を助言、指導した。 ②校友会奨学金制度に基づき、対象学生に給付した。 ③臨床心理士による学生相談を実施、学習や生活についてのサポートに努めた。</p> <p>4) 卒業教育 付帯教育である卒業臨床専攻コースに3名が進み、研修を修了した。校友会研修会、鍼灸臨床セミナー等を実施し、卒業後のキャリアアップを支援した。</p> <p>5) 高等教育の修学支援制度 令和2年度より施行される高等教育の修学支援制度において、確認要件を満たしている学校として制度対象校となった。 11月より在校生向けの在学申請が始まり、希望者の対応を行った。</p> | <p>2.8</p> | <p>学生の身体的・精神的・社会的健康のための支援は重要な課題である。令和元年度末から新型コロナウイルス感染症が猛威を奮い、卒業式等も簡略化して行われたが、今後も感染拡大の防止に努めてほしい。</p> <p>卒前教育のみならず、卒業後のフォローも行っている。</p> <p>教育訓練給付金制度や高等教育の新たな修学支援制度の対象校としての要件を具備するなど、教育機関として努力していることを高く評価できる。 今後の充実と継続を期待する。</p> |
| <p>6. 教育環境</p> | <p>1) 施設・設備の構造・面積等を法令に準拠している。 健康保険法の改正に伴い、7月より学園敷地内を禁煙とした。</p> <p>2) 学生の学習環境向上のため、教材等の充実を図った。 トレーニングルームのランニングマシン等、新しいものに入れ替えた。</p> <p>3) その他、教具・図書等の充実に努めた。 各階に防犯カメラを設置、防犯・安全対策に努めている。 非常放送設備等の定期点検を実施した。</p> | <p>3</p> | <p>学習環境の整備点検に努めている。 年々、夏季の気温上昇や台風の大型化、集中豪雨などが懸念される中で、空調設備や災害に備えた備品等の点検整備に努めてほしい。</p> |

| | | | |
|-----------------------|---|------------|---|
| <p>7. 学生募集および受け入れ</p> | <p>アドミッションポリシー及び学生募集要項に基づき、適正に実施している。</p> <p>1) 本校の情報を、適宜学校ホームページや SNS 等で発信した。</p> <p>2) オープンキャンパス、夜間学校説明会を開催し、本校の魅力発信に努めた。なお、オープンキャンパス等の参加者からの受験率は 54%であった。(高校 1、2 年の参加者除く)</p> <p>また今年度より、高校生対象の AO、推薦入試説明会を実施。この説明会の参加者からの受験率は 82%と高かった。</p> <p>3) 業者主催による進学相談会に積極的に参加し、高校生や受験希望者と直接コミュニケーションをとることで、適正な情報提供に努めている。神奈川東部（横浜エリア）から静岡西部（掛川エリア）まで幅広く活動を行った。</p> <p>4) プレスクールを 4 回実施、新入生同士のコミュニケーション、学習への意欲向上、基礎学力の把握等に努めた。</p> | <p>2.8</p> | <p>プレスクールは新入生同士のコミュニケーション、学習への意欲向上など一定の成果をあげていると思われる。今後も継続し、入学後の教育成果につなげて欲しい。</p> <p>進学ガイダンスや高校訪問など、学生募集に努力している。今後も高校の教職員や卒業生との関係を大切にし、学生募集や進路指導につなげて欲しい。</p> |
| <p>8. 財 務</p> | <p>健全な財務状況の保持と情報公開に努めている。</p> <p>予算、収支計画は有効かつ妥当なものとなっている。令和元年度は、前年度中退者による収入減、トレーニングマシン、OS のサポート終了に伴う、サーバー、教職員パソコン入れ替え等整備等により、支出が収入を上回る状況となった。会計監査は適正に実施されている。</p> | <p>2.8</p> | <p>健全な財務状況の保持と情報公開に努めている。引き続き、努力することを求める。</p> |
| <p>9. 法令等の遵守</p> | <p>専修学校設置基準、職業実践専門課程の規程、養成施設認定規則および同指導ガイドライン等の法令を遵守している。</p> <p>前年度の学校運営について学校関係者評価を実施、その結果を公開した。</p> | <p>3</p> | <p>関係法令を遵守し、関係団体の倫理規定等に基づいた学校運営がおこなわれている。</p> |
| <p>10. 社会貢献・地域貢献</p> | <p>施術所の運営を通じて、市民の保健衛生の向上に寄与した。</p> <p>昨年に引き続き熱海市社会福祉協議会主催の「福祉まつり」に参加。マリンスパあたみで開催された「マスターズ水泳大会」や小田原アリーナで開催された「全国定時制高校バドミントン大会」において、AT 現場実習を兼ねてケア活動を実施した。また、茨城国体にトレーナーとして参加した。</p> <p>地域中学生の職場体験を受け入れ、県内高等学校における出前講座として、職業講話やマッサージ実技指導等を行い、職業教育機関としての役割を果たすことができた。</p> | <p>3</p> | <p>学園の重点目標の一つに「地域貢献」を掲げ、地域に必要とされ、地域に愛される学校となるべく取り組んでいることを高く評価する。</p> <p>中学生の職業体験や高校への出前授業等を通じて、職業教育機関として貢献するとともに、今後の学生募集につなげてほしい。</p> |

東海医療学園専門学校 学校関係者評価委員会

期 間 令和2年5月15日（金）～29日（金）

※今年は新型コロナウイルスの影響により委員会を開催せず、各委員に評価資料を郵送し、返送された評価表を集計し報告書として取りまとめた。

評価者 学校関係者評価委員会

委員長 矢田 真樹 （校友会副会長・静岡県鍼灸学術研究会会長）

〃 齊藤恭二郎 （公益社団法人静岡県鍼灸マッサージ師会会長）

〃 中村 聡 （静岡県保険鍼灸マッサージ師会会長）

〃 井出 啓之 （とがみえん児童クラブ理事長）

〃 澁谷 哲平 （校友会副会長）